
株式会社フィスコ

2008年12月期 中間決算短信補足説明資料

2008年8月14日

当中間期の主な取組み

1. **主力サービスであるリアルタイム配信は堅調に推移(前年同期比14.2%増)**
2. **新規サービス提供に向けた事業整備が進む**

金融機関向け販売支援ツール「RASHINBAN(金融情報誌)」

(2008年4月サービス開始)

アジア中心の新興国市場を調査対象とするリアルタイム情報

「エマージング・マーケット・ウォッチ」

(2008年7月サービス開始)

概要: 各国の証券市場動向、場況、現地証券会社のコメント、現地経済と産業に関するニュース等

対象国: 中国、香港、インド、タイ、ベトナム、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、
ブラジル、ロシア等

携帯電話向け株式・為替情報「フィスコモバイル」(2008年7月サービス開始)

株式投資に求められる銘柄選定、タイミング判定に有益な

投資判断支援ツール「銘柄カルテ」

(2008年8月サービス開始)

連結損益計算書 主要項目(前年同期比)

	2008年12月期 中間 対売上比		2007年12月期 中間 対売上比		増減	増減率
売上高	651	-	510	-	141	+27.6%
売上原価	246	37.8%	181	35.6%	64	+35.6%
売上総利益	405	62.2%	328	64.4%	76	+23.2%
販売管理費	525	80.7%	413	81.1%	111	+27.0%
営業利益	120	-18.5%	85	-16.7%	35	-
経常利益	150	-23.1%	84	16.6%	65	-
当期純利益	368	-56.5%	42	-8.3%	325	-
従業員数	72(9)	-	59(4)	-	13(5)	-
1株当たり当期純利益	11,148円42銭		1,292円68銭		-	-

連結損益計算書 主要項目増減要因（前年同期比）

1. 主な増収要因

情報サービス事業	+ 40百万円 (前年同期比: +8.8%)
・リアルタイムサービス	+ 34百万円 (+14.2%)
・主要提供先への契約内容改定。	
・フィナンシャルプラス社	+ 19百万円 (-)
・前期3Qより新規連結。当中間期においてフルに寄与。	
コンサルティング事業	+ 42百万円 (前年同期比+160.8%)
・TAKMAキャピタル社	+ 41百万円 (+331.0%)
・投信事業本格始動。	
教育事業	+ 58百万円 (前年同期比: +237.8%)
・シグマベイスキャピタル社	+ 76百万円 (-)
・前期3Qより新規連結。対面教育、通信教育ともに受注堅調。	

連結損益計算書 主要項目増減要因（前年同期比）

2. 主な減益要因

売上原価の増加 + 64百万円(前年同期比+35.6%)

- .TAKMAキャピタル社投信事業始動 + 38百万円
- .連結子会社 2 社算入に伴う影響 + 34百万円
 - (フィナンシャルプラス社 + 18百万円)
 - (シグマベースキャピタル社 + 16百万円)

販売管理費の増加 + 111百万円(前期比+27.0%)

- .TAKMAキャピタル社人員拡充による人件費増 + 14百万円
- .連結子会社 2 社算入に伴う影響 + 91百万円
 - (フィナンシャルプラス社 + 6百万円)
 - (シグマベースキャピタル社 + 85百万円)

連結損益計算書 主要項目増減要因（前年同期比）

2. 主な減益要因

特別損失の計上	292百万円(前年同期比-)
. 関係会社株式に対する評価減 (業績低迷による当初回収計画の遅れ)	
持分法による投資損失(N N A 社)	177百万円
のれん減損損失(フィナンシャルプラス社)	51百万円
. 保有資産の減損 (市況悪化に伴う個人向けサービス事業の低迷)	
フィスコ(ソフトウェア・器具及び備品)	38百万円
フィナンシャルプラス社(ソフトウェア)	8百万円
. 投資有価証券評価損(時価下落による減損処理)	17百万円

連結貸借対照表 主要項目(前期末比)

科目	当中間期末 2008年6月30日		前期末 2007年12月31日		増減
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比	
(資産の部)					
流動資産	648	51.8%	1,240	58.4%	591
固定資産	602	48.1%	876	41.3%	273
1.有形固定資産	63	5.0%	100	4.7%	36
2.無形固定資産	66	5.3%	176	8.3%	109
3.投資その他の資産	473	37.8%	600	28.3%	126
繰延資産	1	0.1%	6	0.3%	4
資産合計	1,253	100.0%	2,122	100.0%	869
(負債の部)					
流動負債	233	18.6%	220	10.4%	13
固定負債	286	22.9%	355	16.7%	69
負債合計	519	41.5%	575	27.1%	56
(純資産の部)					
資本金	748	59.7%	748	35.2%	0
資本剰余金	402	32.1%	402	19.0%	0
利益剰余金	381	30.5%	13	0.6%	368
自己株式	43	3.4%	43	2.0%	0
評価・換算差額等	19	1.6%	23	1.1%	4
少数株主持分	27	2.2%	476	22.4%	449
純資産合計	733	58.5%	1,546	72.9%	813
負債純資産合計	1,253	100.0%	2,122	100.0%	869

連結貸借対照表 主要項目変動要因(前期末比)

1. 資産の部 主な変動要因

現預金	582百万円
	<ul style="list-style-type: none"> ・ TAKMAキャピタル社連結除外 (527百万円) ・ フィスコ及びシグマベイスキャピタル社借入金返済 (69百万円)
有形固定資産	36百万円
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 償却、ほかフィスコ器具及び備品につき減損損失 (8百万円)
のれん	55百万円
	<ul style="list-style-type: none"> ・ フィナンシャルプラス社のれん減損損失 (51百万円)
ソフトウェア	60百万円
	<ul style="list-style-type: none"> ・ フィスコ減損損失 (30百万円) ・ フィナンシャルプラス社減損損失 (8百万円) ・ 償却 (37百万円)

連結貸借対照表 主要項目変動要因(前期末比)

1. 資産の部 主な変動要因

投資有価証券 109百万円

- ・ NNA社 株式減損損失 (177百万円)
- ・ NNA社 持分法による投資損失 24百万円
(内訳：のれん償却 13百万円、損失負担分 12百万円他)
- ・ 保有有価証券の時価下落 (17百万円)
- ・ TAKMAキャピタル社株式計上 (+106百万円)

連結貸借対照表 主要項目変動要因（前期末比）

2. 負債の部 主な変動要因

借入金返済（短期・長期） 69百万円

- ・フィスコ及びシグマベイスキャピタル社借入金返済

3. 純資産の部 主な変動要因

利益剰余金 368百万円

- ・中間純損失の計上

少数株主持分 449百万円

- ・TAKMAキャピタル社連結除外

2008年度通期連結業績予想について（修正の概要）

1. 修正内容

（単位：百万円）

	2008年12月期 修正後	2008年12月期 修正前	増減額	増減率
売上高	1,310	1,690	380	-22.5%
営業利益	185	51	134	-
経常利益	236	87	149	-
当期純利益	432	0	432	-
1株当たり当期純利益	13,089円53銭	18円90銭	13,108円43銭	-

2. 修正を行う主な理由

1. 金融市場環境の動向に伴う影響
2. 事業進捗の遅延
3. 当社グループ組織改編

連結子会社であったTAKMAキャピタル株式会社が当中間連結会計期間より持分法適用関連会社となり、第3四半期連結会計期間から期末までの損益を連結決算に取り込まなくなるため。

4. 当中間連結会計期間における特別損失の発生